

公園づくりのパートナーとして一緒に活動しませんか！

信太山里山講座

平成 30 年 9/2 (日)

— 第 3 回 テキスト —

◆公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ
(実 践)



氏名

目次

1. 本日のタイムスケジュール

時間	カリキュラム	講師
10:00～10:05 (5分)	『開会あいさつ』	
10:05～11:30 ごろ (55分)	講座 1『公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ』 (実践) <適宜休憩>	三輪 健一郎氏 (NPO 法人い すみの国自然館 クラブ)
11:30 ごろ (5分)	『閉会あいさつ』 終了	

2. 講座資料「公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ（実践）」

信太山の公園協議会の作業は以下のような内容があります。

1. 草地の回復図るために、継続的に草刈を行う。
2. 草地の維持や道の通行のために、マツなどの枯れ木の除去を行う。
3. 在来植物を守るために、外来植物の除去を行う。
4. 公園整備計画に基づいてツツジ群落の整備のために、下草刈りを行う。
5. 公園整備計画に基づいて、アラカシやトウネズミモチの伐採を行う。
6. 大きく育ちすぎた樹木の伐採・整備を行う。
7. 希少な貧栄養湿地の維持管理を行う。

信太山は、かつて里山として人々に利用され続ける中でその存在を明らかにしてきました。里山自然公園はそういう意味で開園するまで、さらにその後も継続して人の手を入れていかなければなりません。大変なことですが、少しずつ、それぞれの人ができることを、継続し、仲間を増やしながら、その意義を理解しながら自然遊びとして実施していくことが大切です。そのために怪我のないように安全で楽しい作業をしていきましょう。

基本的な準備物

服装：夏でも長袖・長ズボンが基本です。

手ぬぐい：首に巻くことによって汗を拭いたり、帽子の代わりになったりと便利

軍手：手を保護するのに必要。ゴム引きの使いやすいものが良いが、革製のものも良い。

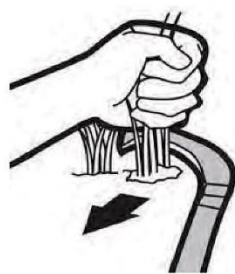
靴：根株が刺さると危ないので厚底のものが良い。長靴を愛用しているが、ゴミが入りやすいので丈の長いものが良い。

帽子：熱射病予防や頭の怪我を防ぐために着用する。

飲み物：休憩時には必ず水分補給をして体調を整えます。

作業に必要な器具や機械

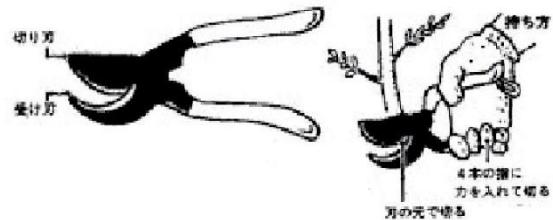
鎌…草や根株を刈る。小枝を払う。左手で草や根株を持ち、右手で手前に引いて刈ります。鎌の刃に近い左手は手袋が絶対に必要です。



根株や小枝を切ると先端が尖るので十分に気を付ける。長靴に穴が開いたことがあります。疲れてくると勢いが余って靴にあたってしまったこともあります。

剪定ハサミ…小枝を切ったり、クズのつるを切ったりする。

ポケットなどに一つ入れておくと便利ですが、握り付け根のV字部分で親指と人差し指の間の柔らかい部分を挟んでしまうことがあります。100均のものはすぐにダメになるので最低1000円ぐらいのものがよい。



刈込（枝切り）ハサミ…小枝を切ったり、触りたくない棘のあるイバラなどを切る。

使用する人にとって危険なものではありませんが、長いので振り回してハサミの先が人にあたると危ない。子どもには持たせない方が良いでしょう。



レーキ（熊手）…刈った草を集めたり、落ち葉かきをして地表に日光が当たるようにする。

刈払機から少しでも離れて草集め作業ができるのでより安全。



作業によってしっかりしたレーキ（左）と柔らかい熊手型レーキ（右）を使い分ける。

ノコギリ…直径1cm～10cm程度の木を切る

あまり太い木は無理にやらない。アルスなどの有名メーカーのもの、最低2～3000円がよい。使用しないときは必ず折りたたむか、ケースにいれておく。



腰にぶら下げるハードケース入りとポケットやナップサックに入れる折り畳み式

ナタ…直徑1cmぐらいの枝を払ったり、竹を切ったり、木を割ったりする。

枝を払うと切り口が鎌と同じで尖るので注意する。ナタの刃はそれほど鋭いものではないが、やはり危ないので必ずケースに入れるか、カバンなどにいれておく。



刈払（草刈）機…信太山の草地は広いことと根株が多いので作業効率のよい刈払機は重要な役割を果たしている。

機械なので勢いを急に止めることができません。キックバックで使用者本人や近くにいる人を傷つけてしまう怖れがあるので厳重に注意することが必要。小石などを飛ばしてしまって目に入ったという事故があるので15m以内には近づかない。<最低5m以上は絶対に確保する>もちろん作業者はフェイスガード等を着けなければ使用してはいけません。

図2. 危害の症状 (n=34)

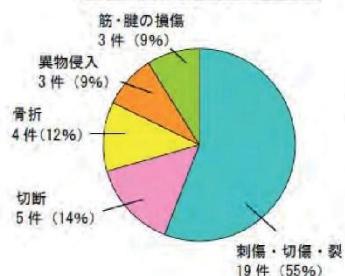


図3. 危害の部位 (n=34)

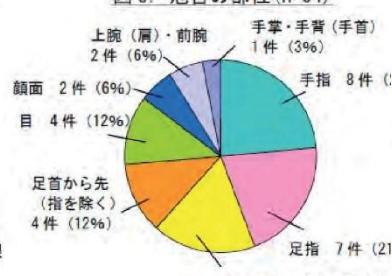


図4. 被害者の年齢 (n=34)

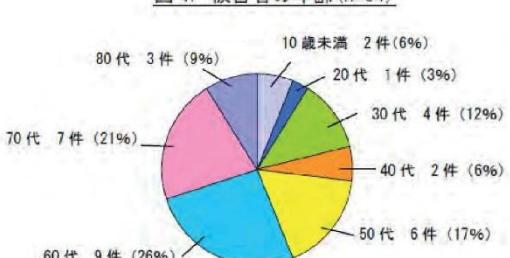
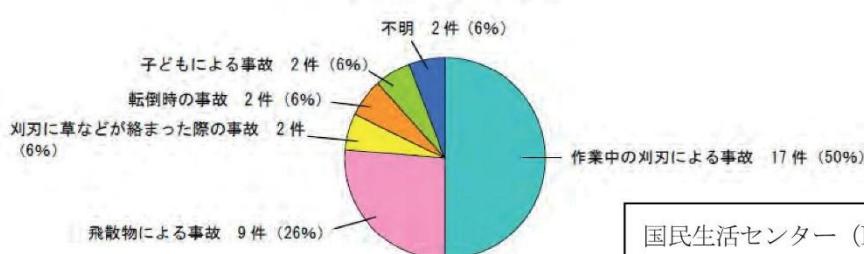


図5. 状況別の分類 (n=34)



国民生活センター (H25.7.4) 調べ

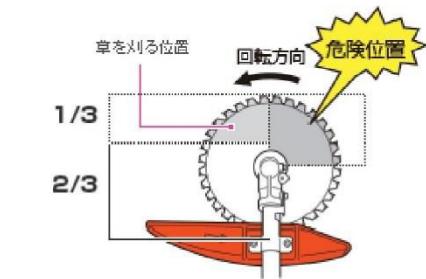
作業場所の整備

- 刈刃が石や空き缶などの障害物に接触すると、飛散することがありますので、あらかじめ障害物を取り除いてください。
- 取除く事のできない物は、あらかじめ目印を付けて接触しないよう注意して作業してください。



キックバック（刈刃の跳ね返り）の注意

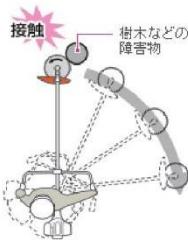
- チップソーなど、金属製の刈刃を使用中に、刈刃の先端から右側部分が樹木などの障害物や硬い地面に接触すると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、作業者の右側に向かって跳ね返すキックバックが発生します。
- 雑草などで隠れている切り株や石などに刈刃が接触してキックバックを起こすことがあります。雑草の中にそのような障害物がないかよく確認してから作業してください。



刈払機を体の右側にして作業してください

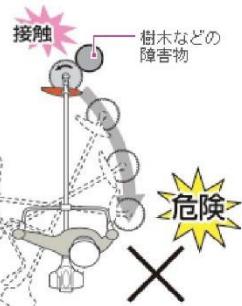
・体の右側の場合

キックバック発生時、
刈払機は図の点線で
示した様に作業者を
中心に動くため、刈
刃部が体に接触する
危険性は低くなります。



・体の左側の場合

キックバック発生時、
刈払機は図の点線で
示したように動いて
刈刃部が体に接触す
る可能性があり、
危険です。

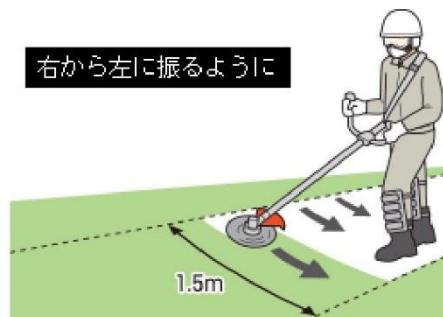


・必ず右から左に振るように作業

(往復して刈らない)

刈刃直径の先端左側 1/3 の部分で刈ると、切れ味
が良く、また草の巻き込みも少なく効率的に作業
できます。

刈幅は 1.5m くらいが適切です。



作業手順

厳守：全体の作業なのでルールを守り、指導者の指示に従って行動をしましょう。

まず最初に

3人一組（刈払機作業者、刈り草除去係り、刈り草運搬係り）とビニールシート運搬係りを作る。

刈払機作業者は最低 5 m以内には刈払機に人を近づけな
い（一般には 15m以内に人を近づけない）。その他の人
も刈払機作業中は絶対に 5 m以内には近づかない。特に子供には注意する。



- ① 刈払機作業者は必ずフェイスガードを着用し、刈り草除去係りが一人で運べる量を刈り取る。
- ② 刈払機作業者はスロットルを落とし、作業場所を開け、刈り草除去係り（眼鏡のない人は安全メガネをかけるようにすること）に声をかける。
- ③ 刈り草除去係りは刈払機のスロットルが落ちていることを確認してから、刈った根籠をレーキ等で集め、一抱えにして10m程離れた安全な場所に運ぶ。
(① ⇒ ② ⇒ ③ の繰り返し。)
- ④ 刈り草運搬係りはビニールシートの集積場まで刈り草を運ぶ。ビニールシート運搬係のお手伝いもする。
- ⑤ ビニールシート運搬係は4人一組で指定された刈り草の最終集積地まで運ぶ。

チェーンソー…太い木を切ったり、整理したりするために使用する。

安全講習を受けたものでなければ使用してはいけません。切るもののが固定されていること。両手を使って使用すること。危険度は最大級です。



チェーンソー作業をするとき

- ・チェーンソーを使用するときは、必ず両手でしっかりと持って使用してください。
- ・片手では絶対に使用しないでください。
- ・使用中は、ソーチェン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ・チェーンソーの回転が大幅に低下するような無理な使い方はしないでください。
- ・作業中は、マフラーの排気口周辺から可燃物(おがくず、樹皮、枯れ草、紙くずなど)を遠ざけてください。
- ・排気が連続して可燃物に当たると発煙、発火することがあります。
- ・チェーンソー作業にあたっては、事前に専門の教育機関での受講をお薦めします。

(各都道府県の林業・木材製造業労働災害防止協会等にお問い合わせください。)

エンジン工具・安全上のご注意（日立工機より）

以上、ルールを守って楽しく作業しましょう。